

事務事業実績測定調査

事務事業名称	私設メーター取替費用補助事業												
測定年度	2020(R2)年度				部	上下水道部				課	上下水道総務室		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち										
	施策目標		26.安全で良好な生活環境が確保されたまち										
	実行計画名												

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業	
事業期間	1995(H7)年度		年度	～	年度まで	
根拠法令等	計量法・集合住宅等に係る私設メーター取替費用の補助に関する要綱					
関係補助金名称	私設メーター取替事業補助金		サンセット	2017(H29)年度	～	2019(R1)年度
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	集合住宅等(市が検針している私設水道メーターが設置されている場合に限る)の所有者(個人、管理組合、管理会社等)				
	サブターゲット					
	ターゲットが抱える課題	計量法の規定による集合住宅等の私設水道メーターの取替は当該メーターの所有者に委ねられていることから、市水道メーター利用者との公費負担の公平性確保を図る必要がある。				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	集合住宅等の所有者が計量法に規定する期限内に計画的に私設水道メーターの更新を図っていくこと。					
事業概要	<p>私設水道メーター取替事業補助金交付申請について、申請内容の審査及び取替後の検査等を行い、補助金の交付を行う。</p> <p>■事務処理の概要</p> <p>①私設水道メーター取替事業補助金交付申請の受付 ②申請内容審査→補助金交付予定決定通知書の送付 ③取替事業完了報告書の受理→現場調査→合格通知書の送付 ④補助金交付請求書の受理→補助金の交付(指定口座振込み)</p> <p>■制度改定について</p> <p>本制度は、公費負担の公平性の観点から検討を行い、平成28年度から制度改定を行っている。 改定内容:①補助対象水道メーター:全ての私設水道メーター→本市が検針している私設水道メーター ②補助額:直読式メーター7,000円/個→4,500円/個 遠隔指示式メーター16,400円/個→12,500円/個</p>					

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
ロジックモデル		集合住宅等の所有者が計量法に規定する期限内に計画的に私設水道メーターの更新がなされる。				市水道メーター利用者との公費負担の公平性が確保される。				私設メーター取替事業補助金を交付する。			
指標説明		集合住宅等の所有者が計量法に規定する期限内に私設メーターを更新される割合 【算出式:期限内に更新された私設メーターの件数/本市が検針している私設メーターの件数×100】				公費負担額と補助額の差(変動率) ※補助金の見直し方針に基づき、R5年度以降の変動率は改定となる場合がある。				申請件数に対する補助金交付率			
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	90	92	94	96	±30	±30	±30	±30	100	100	100	100
	実績	80.70				3.75				100			
	達成度	90%				100%				100%			
分析	令和2年度中に交換が必要であった件数4,002件に対し、取替を実施できた件数は3,228件であり、実績値は80.7%であった。				公費負担額と補助額の差(変動率)は、直読式メーター6.4%、遠隔指示式メーター1.1%出会った。これらの平均値は3.75%であったため、実績値は100%であった。				申請のあった交付金に関しては、もれなく交付できているため、実績値は100%であった。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.80
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.24
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	7,156	6,414	6,380	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	200	653	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	7,156	6,614	7,033	
	物件費計	19,470	11,014	40,705	44,600	91%
歳出計		26,626	17,628	47,738		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
一般財源		26,626	17,628	40,705	44,600	

5. 総括的分析

総括的分析	私設メーターの取換事業にあたっては、所有者等に対して事前に取り替え案内を実施しているが、取替え作業に関しては所有者に委ねられているのが現状であるため、引き続き所有者等に取り替えを促していく。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	見直し
今後の取組方針	補助金の見直しに関する方針(平成28年9月)に基づき、当該補助金はサンセット方式(令和2年度～令和4年度)が導入されている。また、令和2年度包括外部監査においても補助制度の目的の整理や手法の検討について補助金のあり方について意見があったことから、本補助制度の根拠となる目的の整理を行うとともに、サンセット終期までの取り組みとして、令和3年6月末から他都市の事例調査を実施中で、メーター付与などの本市の財政負担が軽減できる手法の検討や補助金制度の補助要綱の見直し等の検討を引き続き行う。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	水道料金・下水道使用料賦課徴収事務											
測定年度	2020(R2)年度				部	上下水道部				課	上下水道総務室	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4				
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち									
	施策目標		26.安全で良好な生活環境が確保されたまち									
	実行計画名											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業	
事業期間	不明		年度	~	年度まで	
根拠法令等	水道法・枚方市水道事業給水条例・下水道法・枚方市下水道条例 等					
関係補助金名称					サンセット	~
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	水道及び公共下水道の利用者				
	サブターゲット					
	ターゲットが抱える課題	使用水量に応じた水道料金・下水道使用料を納付する必要がある。				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	すべての利用者が滞納無く納付期限内に納付している状態。					
事業概要	水道利用者に対して、水道料金及び下水道使用料を賦課(算定・請求)し、徴収を行う。 ■事務処理の概要 ①水道使用申込(開栓)の受付 ②検針(使用水量確定) ③水道料金及び下水道使用料の算定(調定) ④水道料金及び下水道使用料の請求(口座振替・納付書送付) ⑤水道料金及び下水道使用料の徴収					

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
						水道料金の徴収を行う。				水道料金を賦課する。			
指標設定	指標説明					水道料金徴収率(現年度分翌年度5月末) 【算出式: 現年度徴収額/現年度調定額×100】				水道利用者のうち水道料金を賦課する割合 【算出式: 水道料金の賦課件数/水道利用者×100】			
	指標種類	単位				単位				%			
	指標数値	R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5			
	目標(見込み)					99.32 99.33 99.34 99.35				100 100 100 100			
	実績					99.40				100			
	達成度					100%				100%			
	分析					口座振替やスマートフォン決済など多彩な納付手段を用意しており、お客さまが納付しやすい環境を整えていること。また、委託業者とともに滞納整理に取り組んだ結果と考える。				使用者973,786件に対し適切に賦課できていると考える。			
ロジックモデル②		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
						下水道使用料を徴収する。				下水道使用料を賦課する。			
指標設定②	指標説明					下水道使用料徴収率(現年度分翌年度5月末) 【算出式: 現年度徴収額/現年度調定額×100】				公共下水道利用者のうち下水道使用料を賦課する割合 【算出式: 下水道使用料の賦課件数/公共下水道利用者×100】			
	指標種類	単位				単位				%			
	指標数値	R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5			
	目標(見込み)					99.33 99.34 99.35 99.36				100 100 100 100			
	実績					99.43				100			
	達成度					100%				100%			
	分析					口座振替やスマートフォン決済など多彩な納付手段を用意しており、お客さまが納付しやすい環境を整えていること。また、委託業者とともに滞納整理に取り組んだ結果と考える。				使用者893,811件に対し適切に賦課できていると考える。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	6.61
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	1.10
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	55,676	55,091	49,623	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	2,346	2,996	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	55,676	57,437	52,619	
	物件費計	275,802	418,375	575,121	367,114	157%
	歳出計	331,478	475,812	627,740		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	331,478	475,812	575,121	367,114	

5. 総括的分析

総括的分析	適正かつ効率的に債権の管理・回収を行うために、未納額や未納者の状況に応じて、料金の徴収サイクル(督促、催告、訪問徴収及び給水停止予告・給水停止)を行っている。また、委託業者と連携して滞納処分に取り組みが高い徴収率につながっていると考える。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	今後も引き続き、枚方市債権管理及び回収に関する条例を踏まえて、適正な賦課・徴収を執行していく。また、委託業者による徴収サイクル(督促・催告・訪問徴収・給水停止予告・給水停止)にあわせ、債権回収課所属の弁護士と連携し、滞納処分等の法的措置を効果的に実施することにより徴収強化に取り組む。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	給水装置工事事業者・下水道排水設備指定工事店等管理業務										
測定年度	2020(R2)年度			部	上下水道部			課	上下水道総務室		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち									
	施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2020(R2)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市水道事業給水条例、枚方市水道事業指定給水装置工事事業者規程、枚方市下水道条例、枚方市下水道排水設備指定工事店規程				
関係補助金名称					サンセット
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	給水装置工事・下水道排水設備工事等を行う事業者			
	サブターゲット	給水装置工事・下水道排水設備工事等を受ける市民・市内事業者			
	ターゲットが抱える課題	関係条例・規程等に基づき、適正かつ円滑に工事が施工される必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	給水・排水機能が適正に保持され、健康で安全かつ快適な生活・事業が営まれている状態。				
事業概要	指定給水装置工事事業者業務・・・水道事業者の給水区域内における給水装置工事について、適正に施工できると認められる事業者を指定する制度。 下水道排水設備指定工事店業務・・・下水道供用開始区域内における宅内排水設備工事について、適正に施工できると認められる事業者を指定する制度。				

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						指定工事事業者の情報が最新化され、工事等を依頼する市民や市内業者が円滑に工事を依頼できる。				新規指定や指定の更新、指定事項の変更等の申請に対して、適正に審査し、速やかに情報を反映させる。			
指標設定	指標説明					工事事業者情報反映件数(給水・排水)				申請受理件数(給水・排水)			
	指標種類	単位				単位				単位			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標(見込み)					291	343	294	368	291	343	294
	実績					278				278			
	達成度					96%				96%			
分析					ホームページで工事事業者の最新化した情報を周知している。				新規指定や指定の更新、指定事項の変更等の申請に対して、適正に審査し、速やかに情報を反映させている。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	1.35
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	—	10,823	10,766	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	—	10,823	10,766	
	物件費計	—	61	8	0	—
	歳出計	—	10,884	10,774		
歳入	国庫支出金	—	0	0	0	
	府支出金	—	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	—	0	0	0	
	市債	—	0	0	0	
	その他	—	0	810	935	
	歳入計	—	0	810	935	
	一般財源	—	10,884	▲ 802	▲ 935	

5. 総括的分析

総括的分析	新規指定や指定の更新、指定事項の変更等の申請に対して、適正に審査し、ホームページで工事事業者の最新化した情報を周知することができた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	今後も適正に審査を行い、引き続き、周知を行っていく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	下水道事業受益者負担金賦課徴収事務													
測定年度	2020(R2)年度				部	上下水道部				課	上下水道総務室			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち											
	施策目標		26.安全で良好な生活環境が確保されたまち											
	実行計画名													

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業								
事業期間	1966(S41)年度		年度	~	年度まで								
根拠法令等	都市計画法・東部大阪都市計画下水道事業受益者負担に関する条例 等												
関係補助金名称												サンセット	~
関係附属機関名称													
事業対象	メインターゲット	公共下水道が整備される区域内の土地の所有者											
	サブターゲット												
	ターゲットが抱える課題	公共下水道事業の整備に要した費用の一部を納付する必要がある。											
	ターゲットが抱える課題												
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	すべての対象者が滞納無く納付期限内に納付している状態。												
事業概要	<p>公共下水道排水区域の土地所有者等に対して、受益者負担金を賦課(算定・請求)し、徴収を行う。</p> <p>■事務処理の概要</p> <ol style="list-style-type: none"> ①公共下水道排水区域の確認(現地調査含む。) ②受益者負担金賦課対象土地通知書(事前通知)の送付 ③受益者負担金に関する相談会の開催 ④受益者変更・賦課保留・減免に係る申請の受け付け・審査 ⑤受益者負担金の算定(調定) ⑥受益者負担金の請求(納付書送付) ⑦受益者負担金の徴収 												

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
						下水道事業受益者負担金を徴収する。				下水道事業受益者負担金を賦課する。			
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
	指標説明					受益者負担金徴収率(現年度分) 【算出式: 現年度徴収額/現年度調定額】				下水道供用開始区域のうち下水道事業受益者負担金を賦課する割合 【算出式: 供用開始区域内の賦課件数/供用開始区域内の土地所有者】			
	指標種類	単位				単位				単位			
		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	達成度					105%				100%			
分析					職員による案内や令和2年度より委託業者による休日訪問徴収などを実施し、良好な結果となっている。				下水道供用開始区域における区域内の土地所有者の調査を行い、全件賦課している。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	1.60
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.24
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	13,914	12,827	12,760		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	200	653		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	13,914	13,027	13,413		
	物件費計	1,824	2,128	4,094	4,263	96%	
	歳出計	15,738	15,155	17,507			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
一般財源		15,738	15,155	4,094	4,263		

5. 総括的分析

総括的分析	対象者全員に通知を行い、滞納者に対し委託業者と連携して徴収の取り組みを行ったことが良好な結果につながったと考える。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	今後も引き続き、受益者負担金の適正な賦課・徴収を行い、各種事務を執行していく。令和3年度も引き続き、債権管理の強化、効率的でより効果的な徴収体制の構築、滞納の未然防止の取り組みを柱に取り組みを推進する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	上下水道局広報活動事業														
測定年度	2020(R2)年度				部	上下水道部				課	上下水道総務室				
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4							
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり												
	施策目標		29.市民との情報の共有化を進めます												
	実行計画名														
1. 事務事業の概要															
種類	市民サービス			特性	選択的事業				区分	一般事務事業					
事業期間	不明			年度	~				年度まで						
根拠法令等	決裁														
関係補助金名称	サンセット														
関係附属機関名称															
事業対象	メインターゲット	水道・下水道事業の取り組みや各種お知らせ・イベントの案内等、情報を収集する又は受ける市民等													
	サブターゲット														
	ターゲットが抱える課題	水道・下水道事業の取り組みや各種お知らせ・イベントの案内等、情報を受ける機会がない。													
	ターゲットが抱える課題														
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	充実した情報発信・周知により必要な情報を入手することができる状態。														
事業概要	<p>お客さまに、水道水のおいしさや安全性、上下水道事業の役割、取り組みについてPRし、上下水道に対する理解を深めていただくとともに、企業経営の透明性を高め、円滑な事業運営を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報ひらかたや上下水道局ホームページへの記事掲載、FMひらかたでの放送など。 ・広報誌の作成及び発行。 ・出前講座及び環境出前授業の実施、各種イベントへのコーナー参加。 														
2. ロジックモデル及び指標設定															
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)						
	充実した情報発信・周知により、市民が必要な情報を入手することができる。				PRイベント、出前講座等に市民が来場、参加する。				PRイベント等の参加、出前講座等の実施。						
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)						
	指標説明	参加者等の満足度(アンケート実施)				イベント来場者、出前講座参加人数				上下水道事業をPRするため、出前講座等の実施及びイベントへのコーナー参加の回数					
	指標種類	増加することが良いとされる指標													
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標(見込み)	1,120	1,230	1,350	1,425	1,400	1,450	1,500	1,550	5	5	5	5		
	実績	0				0				0					
達成度	0%				0%				0%						
分析	新型コロナウイルス感染症の影響により出前講座やイベントが開催されなかった。				新型コロナウイルス感染症の影響により出前講座やイベントが開催されなかった。				新型コロナウイルス感染症の影響により出前講座やイベントが開催されなかった。						

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.90
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	7,951	7,456	7,178		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	7,951	7,456	7,178		
	物件費計	134	188	2,345	5,008	47%	
歳出計		8,085	7,644	9,523			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
一般財源		8,085	7,644	2,345	5,008		

5. 総括的分析

総括的分析	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、出前講座やイベントが開催中止となった。 広報ひらかたへの記事掲載、上下水道局ホームページの更新を随時実施のほか、SNSなど各種媒体を通じて広報を行った。 水道・下水道事業の取り組み、業務窓口等を案内した「水道・下水道ガイド(保存版)」を転入者に配布した。</p>
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、出前講座等が中止となったが、今後オンラインで開催される場合などは、積極的に参加、実施していく。 水道・下水道事業の取り組みや周知が必要なものについて、広く情報発信するため、ホームページやSNSを引き続き活用していくが、ホームページを定期的又は必要に応じて整理し、日々管理していく。</p>

事務事業実績測定調査

事務事業名称	上下水道局庁舎等施設維持管理業務						
測定年度	2020 (R2) 年度		部	上下水道部		課	上下水道総務室
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3	R4	
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり					
	施策目標	31.持続可能な行財政運営を進めます					
	実行計画名						

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務		
事業期間	不明		年度	~	年度まで		
根拠法令等	消防法、上下水道局防火管理規程、労働安全衛生法、大気汚染防止法施行規則						
関係補助金名称				サンセット	~		
関係附属機関名称							

事業対象	メインターゲット	庁舎・管理棟に来庁される市民や事業者、業務を執行する職員
	サブターゲット	
	ターゲットが抱える課題	上下水道局の庁舎及び管理棟を利用する者がより安全で快適に利用できるよう、維持管理や保守点検等を効果的に実施する必要がある。
	ターゲットが抱える課題	

めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	来庁される市民や事業者、また、職員が安全・快適に利用できる環境が整備された庁舎及び管理棟が実現されている状態。
---------------------------	---

事業概要	<p>来庁される市民及び職員に対して快適な庁舎環境を提供し、上下水道事業の円滑な執行に寄与する。</p> <p><管理する主な施設の概要></p> <ul style="list-style-type: none"> 上下水道局(中宮浄水場)庁舎 3階建て(延床面積 2,066㎡) 経営総務課、経営財務課、営業料金課(窓口業務等委託業者含む)、上水道管理課、下水道管理課の執務場所。 管理棟 4階建て(延床面積 3,759.74㎡) 上下水道事業部(上水道保全課及び下水道施設維持課を除く)の執務場所のほか、水処理に必要な水質試験室、中央操作室を設置。 <p><事業内容></p> <p>中宮浄水場にある上下水道局庁舎等の維持管理のため、清掃業務・測定業務(空気環境・窒素酸化物に係る煤煙排出量)の委託等を行う。</p>
------	---

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
		上下水道局庁舎等施設が適正に維持管理されている。	必要な保守点検等を実施する。

指標設定	指標説明	空気環境測定実施にあたり、結果が良好であった割合 【算出式: 良好箇所数/測定箇所数×100】	上下水道局庁舎における空気環境測定実施回数
	指標種類	単位	単位
	指標数値	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	目標(見込み)		67 67 67 67
	実績		89
	達成度		133%
分析		新型コロナウイルス感染症の影響もあり、各課がこまめに換気を行った。	契約内容のとおり実施した。

ロジックモデル②	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
		上下水道局庁舎等施設が適正に維持管理されている。	上下水道局内の事務執務場所から排出される産業廃棄物を収集運搬し、産業廃棄物として適正に処分を行う。

指標設定②	指標説明	排出された産業廃棄物のうち、適正に処理を行うことが出来た割合 【算出式: 適正処理された量/総排出量×100】	上下水道局内の事務執務場所から排出される産業廃棄物の収集運搬回数
	指標種類	単位	単位
	指標数値	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	目標(見込み)		100 100 100 100
	実績		100
	達成度		100%
分析		各職員が分別意識を持ち、排出を行った。	契約内容のとおり実施した。

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル③						上下水道局庁舎等施設が適正に維持管理されている。				上下水道局内の事務執務場所から排出される一般廃棄物を収集し、本市のごみ処理施設まで運搬し処理を行う。			
指標設定③	指標説明					排出された一般廃棄物のうち、適正に処理を行うことが出来た割合 【算出式: 適正処理された量/総排出量×100】				上下水道局内の事務執務場所から排出される一般廃棄物の収集運搬日数			
	指標種類	単位				単位 %				単位 日			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					100	100	100	100	365	365	365	365
	実績					100				365			
	達成度					100%				100%			
	分析					各職員が分別意識を持ち、排出を行った。				契約内容のとおり実施した。			
ロジックモデル④						上下水道局庁舎等の施設が適正に維持管理されている。				上下水道局庁舎等の清掃作業及び設備維持管理を実施する。			
指標設定④	指標説明					上下水道局庁舎設備維持管理に係る苦情件数				上下水道局内の清掃作業及び設備維持管理回数			
	指標種類	単位				単位 件				単位 回			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					0	0	0	0	12	12	12	12
	実績					0				12			
	達成度					100%				100%			
	分析					委託業者が適切に業務内容を遂行している。				契約内容のとおり実施した。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.90
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	7,951	8,017	7,178		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	7,951	8,017	7,178		
	物件費計	19,922	20,520	45,097	48,344	93%	
歳出計		27,873	28,537	52,275			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	26,759	26,928		
	歳入計	0	0	26,759	26,928		
一般財源		27,873	28,537	18,338	21,416		

5. 総括的分析

総括的分析	上下水道局庁舎等の清掃業務・測定業務(空気環境・窒素酸化物に係る煤煙排出量)の委託、維持補修を行った。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	上下水道局庁舎等の維持管理業務を引き続き適切に実施する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	上下水道局職員管理事務												
測定年度	2020(R2)年度			部	上下水道部				課	上下水道総務室			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり										
	施策目標		31.持続可能な行財政運営を進めます										
	実行計画名												

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務		区分	庶務的内部管理事務						
事業期間	不明		年度	~		年度まで						
根拠法令等	決裁、給与等に関する規程、安全衛生管理規程、被服貸与規程、職員就業規程 等											
関係補助金名称						サンセット	~					
関係附属機関名称												
事業対象	メインターゲット	上下水道局に所属する職員										
	サブターゲット	上下水道事業サービスの提供を受ける市民										
	ターゲットが抱える課題	人事管理等業務を通じ、効率的・効果的な業務執行体制が構築される必要がある。										
	ターゲットが抱える課題	職員の適正配置により、効率的・効果的な執行体制が確立されている必要がある。										
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	効率的・効果的な業務執行体制のもと、適正かつ円滑に事務が執行されている状態。											
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 人事関係(人事異動、採用、雇用、退職、休暇等)・給与関係(月例給与、各種手当の支給、社会保険関係、特別旅費の計算等) 健康管理等関係(健康診断の実施、安全衛生委員会の運営、被服の貸与等) 表彰関係(日水協永年勤続表彰等) 上下水道局の執行体制の整備 											

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定	指標説明												
	指標種類	単位				単位				単位			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)												
	実績												
	達成度												
分析													

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	2.55
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	22,263	20,443	20,336		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	170	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	22,433	20,443	20,336		
	物件費計	5,331	5,197	5,407	10,558	51%	
	歳出計	27,764	25,640	25,743			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
一般財源		27,764	25,640	5,407	10,558		

5. 総括的分析

総括的分析 人事関係・給与関係・健康管理関係等事務について、適正に事務を執行することができた。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	ワークプレイス改革の観点から事務の効率化を図り、適正な事務執行に努める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	上下水道総務室運営事務													
測定年度	2020(R2)年度				部	上下水道部				課	上下水道総務室			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外											
	施策目標		99.施策体系外											
	実行計画名													

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務		区分	庶務的内部管理事務						
事業期間	不明		年度	~	年度まで							
根拠法令等	決裁											
関係補助金名称											サンセット	~
関係附属機関名称												
事業対象	メインターゲット	上下水道事業サービスの提供を受ける市民・事業者										
	サブターゲット											
	ターゲットが抱える課題	安定した上下水道事業の運営により、上下水道事業サービスを継続的に提供される必要がある。										
	ターゲットが抱える課題											
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	課の運営事務が円滑に進む。											
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 課の運営業務 公益社団法人日本水道協会に係る事務処理、会議への参加等 											

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定	指標説明												
	指標種類	単位				単位				単位			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)												
	実績												
	達成度												
	分析												

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	4.64
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.74
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	3.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	—	—	37,004	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	—	1,549	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	29	
		人件費計	—	—	38,582	
	物件費計	—	—	129,995	168,889	77%
	歳出計	—	—	168,577		
歳入	国庫支出金	—	—	0	0	
	府支出金	—	—	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	—	—	0	0	
	市債	—	—	0	0	
	その他	—	—	4,413	3,934	
	歳入計	—	—	4,413	3,934	
	一般財源	—	—	125,582	164,955	

5. 総括的分析

総括的分析	契約システムの管理、情報ネットワークの管理等、上下水道局の総務管理的な事務などを適切に実施した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	ワークプレイス改革の観点から事務の効率化を図り、引き続き、適切な執行に努める。